

# 塩原発電所八汐ダム調整池における調査について

## 1. 塩原発電所・八汐ダムの概要

### 【塩原発電所の概要】

揚水式発電所  
所在地：栃木県那須塩原市  
認可出力：900,000kW  
有効落差：338m  
最大使用水量：324m<sup>3</sup>/s  
運転開始：平成6年6月

### 【八汐ダムの概要】

所在地：栃木県那須塩原市  
発電所名：塩原発電所  
種類型式：アスファルト表面遮水  
壁型ロックフィルダム  
高さ：90.5m  
堤長：263.0m  
竣工年月：平成4年11月

### 【八汐ダム調整池の概要】

総貯水容量：1,190万m<sup>3</sup>  
有効貯水容量：760万m<sup>3</sup>  
湛水面積：0.47km<sup>2</sup>  
常時満水位（標高）：1,048m  
最低水位（標高）：1,028m



塩原発電所鳥瞰写真



八汐ダム・調整池全景



位置図

## 2. 行政処分を受けた理由

- 初期湛水以降、八汐ダム調整池からの浸透流出が大きく、貯水量を保つため違法に水の補給貯留を継続するとともに、これを隠すため毎年の流入・放流量等のデータを改ざんして報告していたため。

## 3. 国土交通省による行政処分の概要（平成19年5月16日）

- 河川法第23条許可（流水の占用）を取り消す。
- 河川法第24条許可（土地の占用）については、新たに許可を取得し、または全ての工作物を除却するまでの間に限り、効力を有する。
- 新たに流水の占用を行う場合は、処分の日から1年以内に従前の許可内容どおりの流水の占用を可能とするための必要な調査を実施のうえ、是正計画を作成し、許可の申請を行う。
- 本件の経緯・内容につき、栃木県、沿川自治体および関係河川使用者に説明するとともに、その結果を国土交通省に報告する。

## 4. 調査の目的

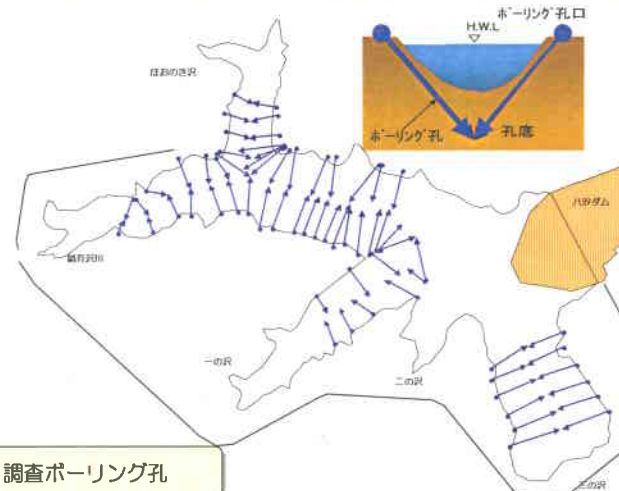
- 調整池の止水対策工事検討に必要な調査を実施する。
- ボーリング調査、テストグラウチング、調整池底部の吸い込み箇所調査等を実施し、得られる水理・地質データ等に基づき対策工事を立案する。

## 5. 調査内容

- 調査期間：（当初）：平成19年8月～平成20年5月  
（変更後）：平成19年8月～平成20年10月
- 調査概要：・調査ボーリング、テストグラウト 67孔 総延長 約12,000m  
・地下水位観測設備設置 6箇所  
・その他浸透流出箇所を特定するための諸調査
- 進捗率：約60%（平成20年5月12日現在）

## 6. 調査ボーリング 配置

池底を縫うように斜めにボーリングし、地山透水性・浸透経路を調査するとともに、ボーリング孔へセメントミルクを注入して池からの浸透流出量の変化等を調査する



調査ボーリング孔



ボーリング足場

内部



ボーリングマシン



八汐ダム調整池全景